



2026年5月19日

各位

会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社  
代表者名 代表取締役社長 根岸 正州  
(東証スタンダード コード: 9610)  
問合せ先 執行役員 コーポレート本部 本部長 渡壁 淳司  
電話番号 03-6381-0234

### 2026年3月期決算補足説明資料（動画）

当社が2026年5月15日に公表しました2026年3月期決算につきまして動画の補足説明資料を公開いたしましたのでお知らせいたします。

[2026年3月期決算補足説明資料（動画）](#) 【外部リンク】

※次ページ以降は動画で使用しましたスライド資料となります。

以上



**2026年度3月期  
決算補足資料**

Wilson Learning Worldwide Inc. (証券コード:9610)

2026年5月15日



## 目次

1 2026年度3月期 決算概要

2 来期展望

3 会社概要

4 Appendix

# 01

## 2026年度3月期 決算概要



## 業績サマリー\_累計

経営陣交代後構造改革を実施し、前期比で大きく収益構造が改善し、増収増益で着地  
来期での黒字化を目指す

(単位：千円)	2025/3	2026/3	
	2025/3 累計実績	累計実績	増減傾向 (YoY)
売上高	1,688,892	<b>1,921,825</b>	<b>+13.8%</b>
売上原価	434,433	<b>521,395</b>	-
売上総利益	1,254,459	<b>1,400,429</b>	<b>+11.6%</b>
粗利率	74.2%	<b>72.9%</b>	<b>△1.3pt</b>
販売費及び一般管理費	1,648,377	<b>1,471,163</b>	<b>△177,214</b>
営業損益	△393,918	<b>△70,733</b>	<b>+323,185</b>
経常損益	△385,721	<b>△91,977</b>	<b>+293,744</b>
親会社に帰属する 当期純損失	△386,041	<b>△140,227</b>	<b>+245,814</b>

### 赤字額の大幅縮小

#### ● 実質損益は大幅改善

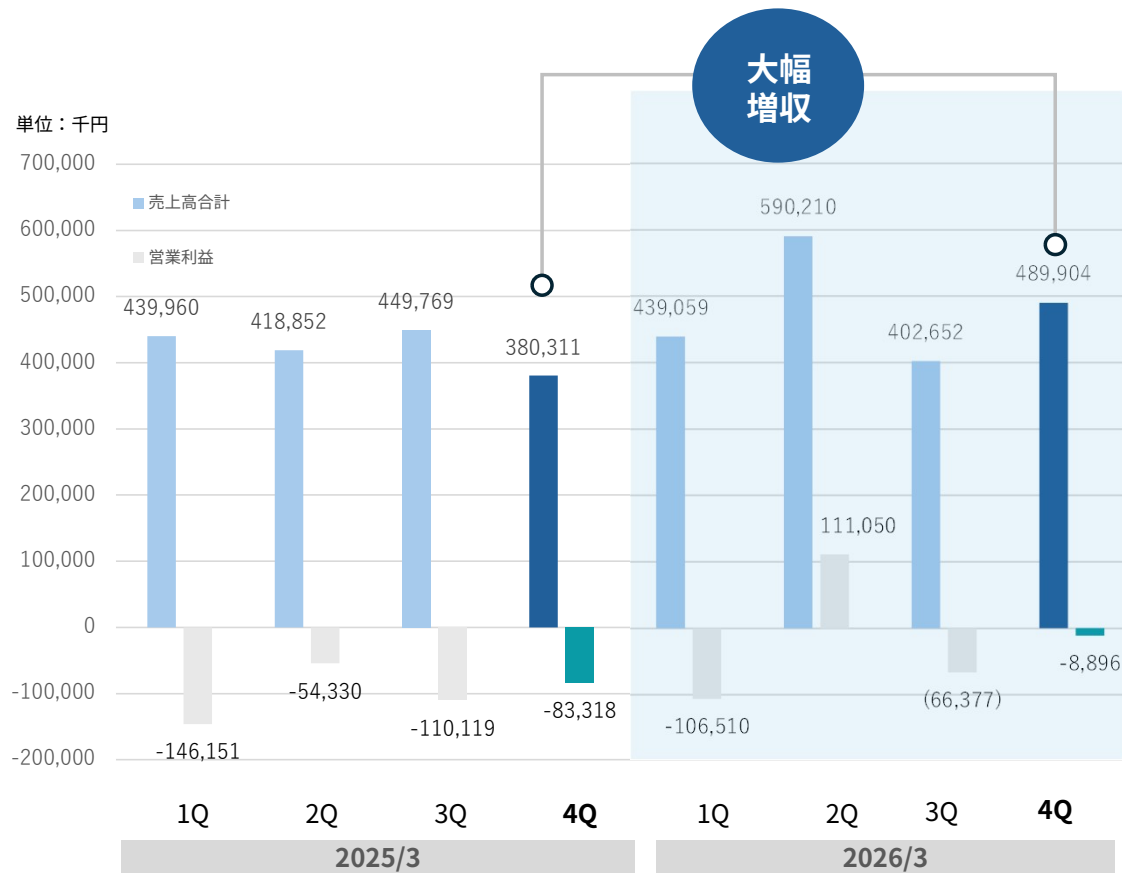
営業損益は公表値に比べて若干ビハイインドしたが、北米でのバックログの影響が要因である。4月上旬に契約完了しており、当該売上（約30百万円）を加味すると、営業損益は大幅に改善

#### ● 費用の見直しの実施

通期で販管費は約177百万円減少しており、翌期に向けたコスト見直しが完了。今後も費用対効果を意識した経営判断を実施する。また、売上向上のための、マーケティング・広告コストも積極的に投下予定。

## 業績サマリー\_四半期期間

好調な北米に加え、日本でも期末需要の獲得ができたことにより前年同期間比で大きく増収増益  
来期は1Q、3Qでの失速を改善し、各Qでの黒字化を目指す



前期比で大幅に増収  
利益に関しては損益分岐点に迫り、  
黒字化の兆しに大きく前進

単位：千円	前年同期比	25年3月期4Q
売上高	+28.8%	380,311
営業利益	+74,422	△83,318
経常利益	+67,332	△77,433
当期純利益	+20,776	△77,985

# 02

**来期展望**



## 2027年3月期ガイダンス

来期は営業黒字転換を見込む

金額の具体的開示は準備が整い次第行う予定だが、黒字転換に向け邁進

FY27 **営業黒字転換** を見込む



### 海外収益の貢献拡大

北米を中心とした海外収益の安定化がグループ全体を支える



### 規律あるコスト管理

低固定費体制を維持し、規律あるリブランディング、マーケティング施策により収益拡大・利益率確保を行う



### 新規サービスの展開

サンダーバードを中心とするETC領域において、新サービスによる収益拡大を見込む

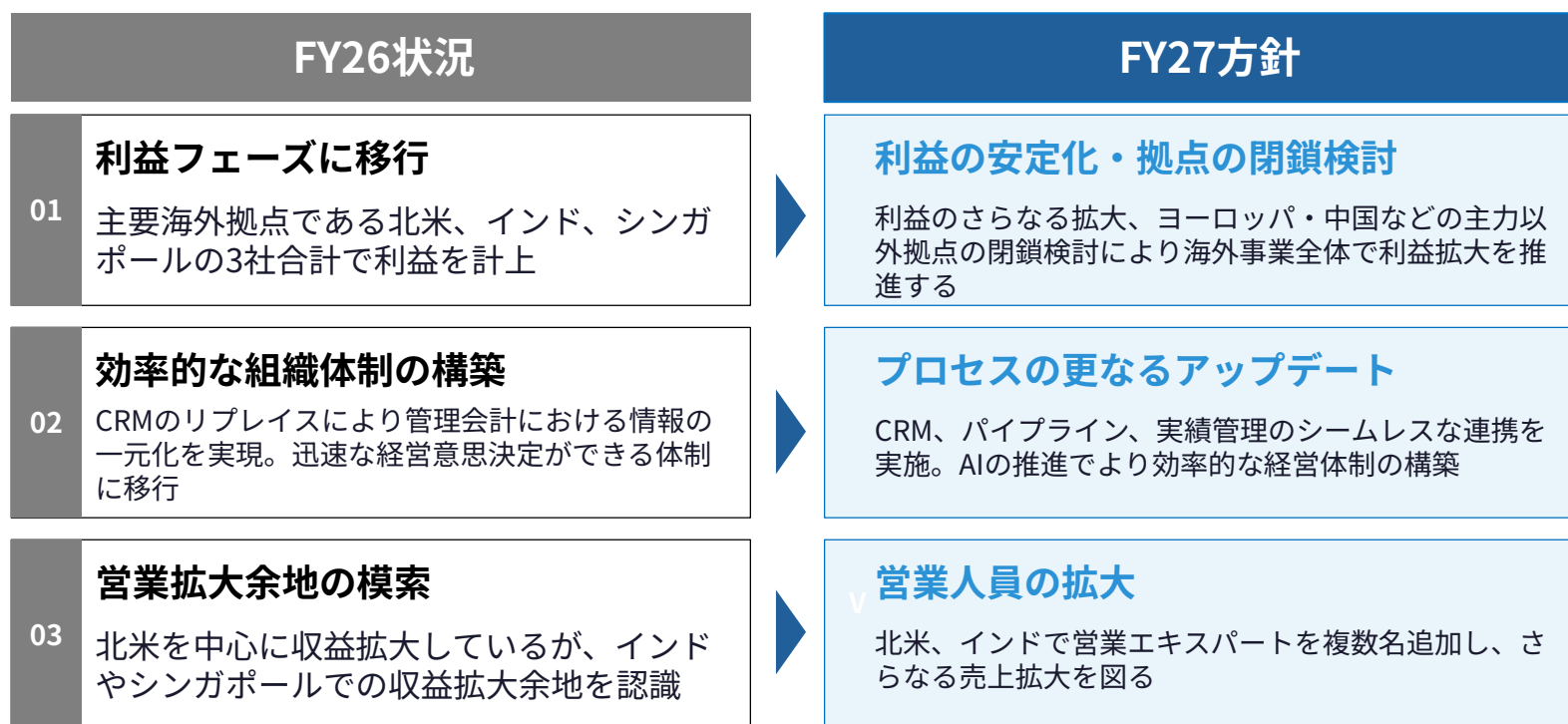
## 事業方針\_日本事業

サービス拡充及び営業体制の見直し、広告・マーケティング活動の再始動による収益拡大を図り、日本事業のブレイクイーブンを目標とする

FY26状況		FY27方針	
01	<b>トップラインの停滞</b> 売上は+16%と増収だが、営業損益△70百万と損益分岐点に届いていない	▶	<b>サービスの拡充</b> 既存商品のリブランディング、サンダーバードを中心に新サービスローンチなど拡充を図る
02	<b>営業体制の再構築</b> 営業組織が個別最適になっており、ワンチームでの成果最大化が実現できていない	▶	<b>ワンチームによる営業組織の見直し</b> 営業組織の見直しを行い、ワンチームでの組織体制に移行し、成果最大化を図る。また、実績ある主力営業の役員登用により、ナレッジの共有も図る。
03	<b>広告・マーケティング予算の不足</b> コスト見直しフェーズにより、広告・マーケティングコストへの配分が不足	▶	<b>固定費見直しにより、資金配分の実施</b> 固定費を削減したことにより広告・マーケティング予算を確保し、積極的なPRを実施

## 事業方針\_海外事業

北米を中心とする海外事業はターンアラウンドが完了し、黒字化フェーズに移行した。営業人員強化、プロセス強化、マーケティング活動の精緻化、AI活用を通じて売上・利益拡大を目指す



# 03

## 会社概要



## Mission Statement

人や組織が、そのもてる力を最大限に発揮できるようお手伝いします  
～充実感を伴ったパフォーマンス～

## Vision

成長モデル『L×ETC構想』を通じて  
時価総額100億円企業へ

成功と充実感は同時に語られることが多いものです。  
しかし成功すれば充実感が得られるかというと、必ずしもそうではありません。

ウィルソン・ラーニングは充実感を伴った成功をサポートすることがミッションです。  
成長は恐れを伴うことがあります。その恐れを乗り越えてこそ本当の成長が待っています。  
どのような人も、組織も、自らを改革し続けることが成長につながります。成長するためには、自らの状況に気づき、目覚めることが重要です。成長する意味を見出してこそ成長につながります。自ら変化を創りだし、自ら成長する、そうして変化に対応していくのです。

世の中が変化しても、貢献する働きをし、充実した生き方をしたいという人間の心理は変わりません。  
ウィルソン・ラーニングは、変化する時代に生きる組織や人に対して、どうしたら人や組織がそのもてる力を最大限に発揮し、充実感が伴う成功を導くお手伝いができるか？について、ひとりひとりが自分自身に問いかけ、行動し、世に変化を起こす勇気と愛に満ちた人の集団なのです。

(創業者 ラリー・ウィルソン)

WILSON LEARNING® 



# ウィルソンラーニングの主な特徴・実績



<b>創 立</b>  <b>60+</b> years	<b>提供エリア</b>  <b>40+</b> Countries	<b>対応言語</b>  <b>30+</b> Languages
---	---	--

**『L×ETC構想』を通じて 時価総額100億円企業へ**

今年で創業60年を迎え、新たな成長ビジョンを発表しました。この成長ビジョンを実現するために新任役員を外部から迎え入れ、新しい経営体制で目標を達成してまいります。

代表取締役 根岸正州

**成長ビジョンを支える基盤**

<b>顧客基盤</b>	グローバルな顧客企業と長期的パートナー関係 世界50か国以上に経験豊富なコンサルタントと ファシリテーターのネットワークを持つ
<b>研究成果</b>	複数の海外大学との複数の 共同研究実績 
<b>受賞歴</b>	セールスおよびリーダー シップ・トレーニング業界 において、連続トップ20の 地位を保続 

**主な研修プログラム内訳 (実績：FY2025 通期連結売上19億円)**

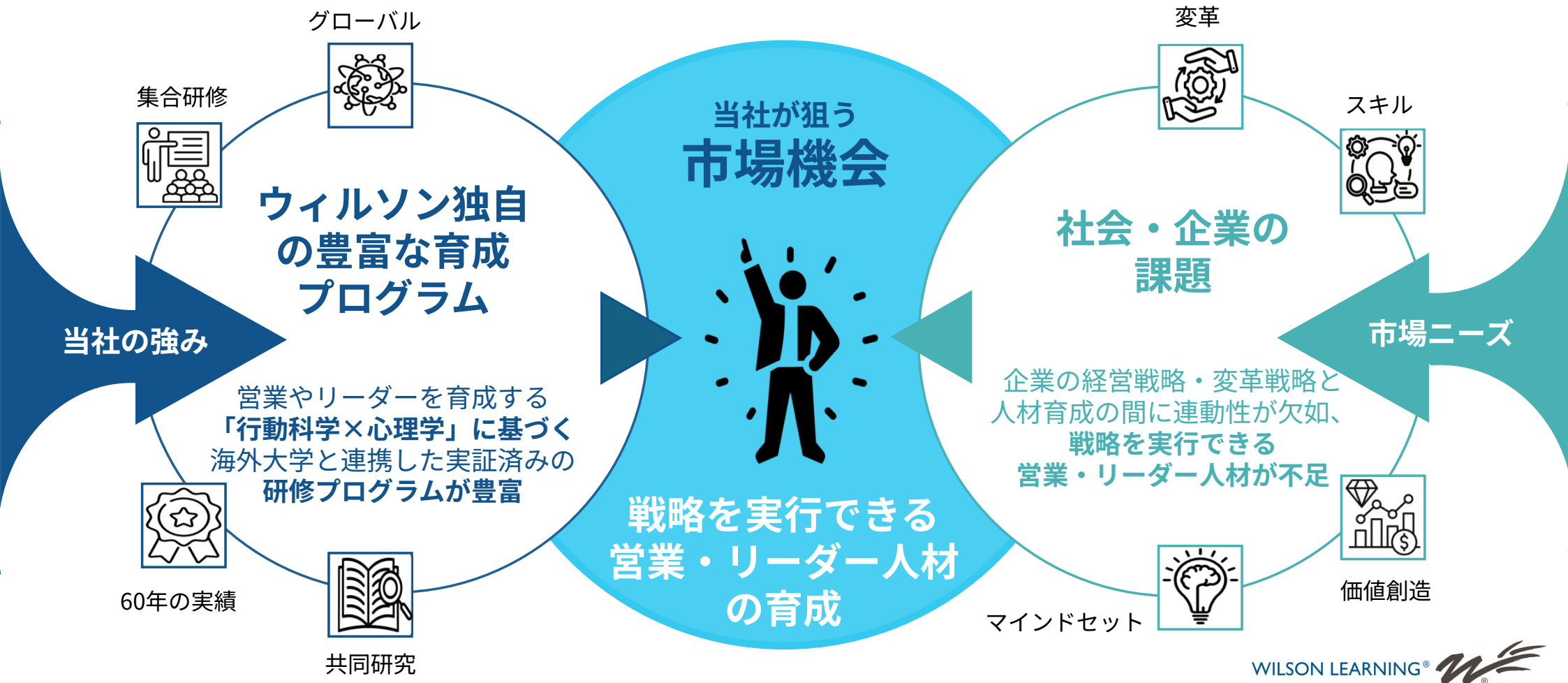
プログラム	テーマ例
セールス	見える化支援 能力開発
リーダーシップ	自律型 リーダーの育成 次世代型経営人材
価値創造	価値創造/変革 組織開発/ 組織文化創造

**地域別**

北米	日本	その他
現在の 成長エンジン	最注力分野	戦略再構築中 →インド・SGPを 中心に拡大検討
売上 <b>11.0</b> 億円	売上 <b>6.6</b> 億円	売上 <b>1.4</b> 億円
構成割合 <b>57</b> %	構成割合 <b>34</b> %	構成割合 <b>7</b> %

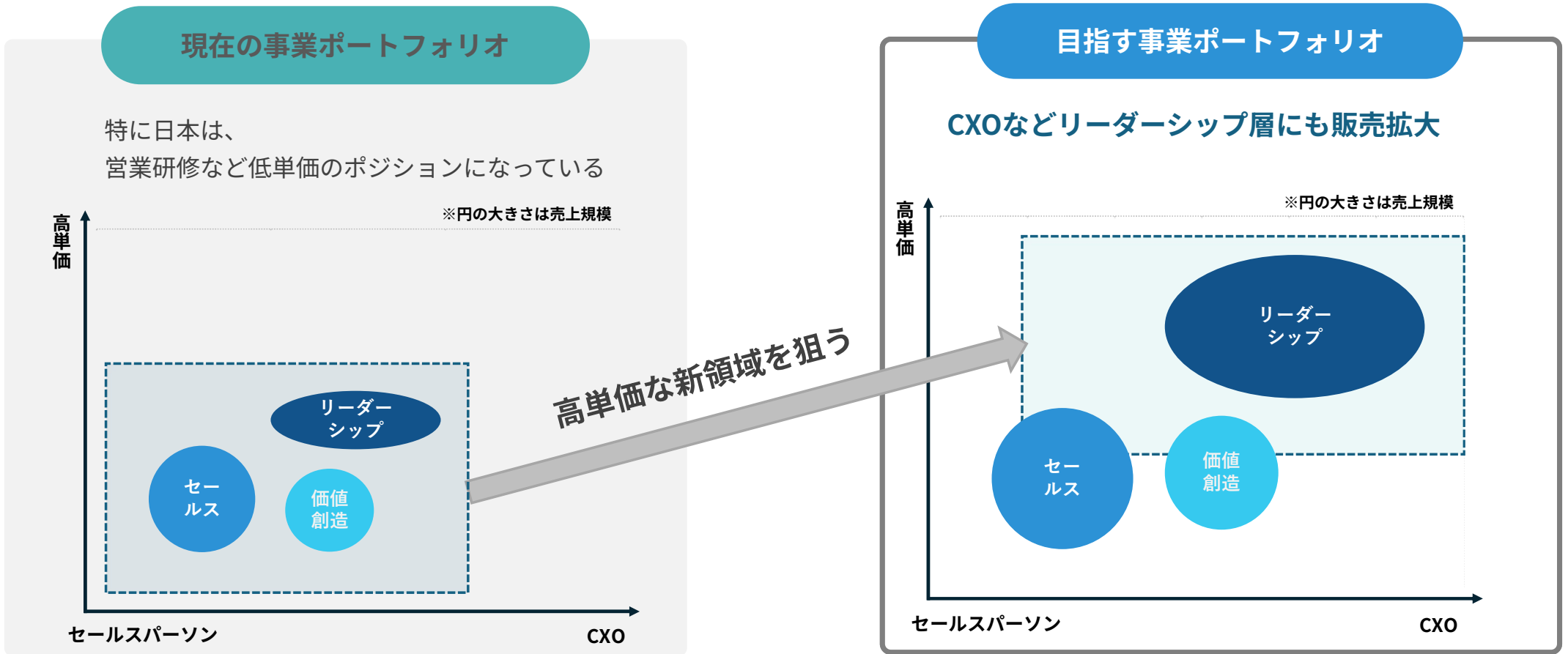
# 市場機会：戦略を実行できる営業・リーダー人材の育成へ

経営戦略と人材育成を連動させたいという企業ニーズが高まっているなか、ウィルソン独自の豊富な育成プログラムで、**戦略を実行できる営業・リーダー人材**を育成



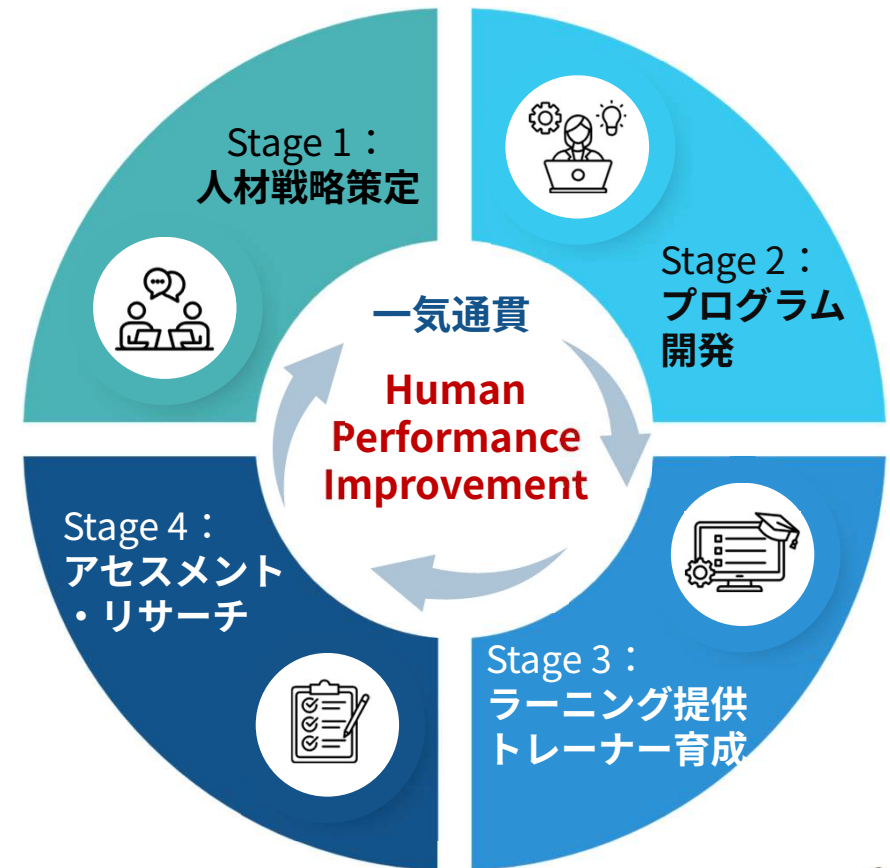
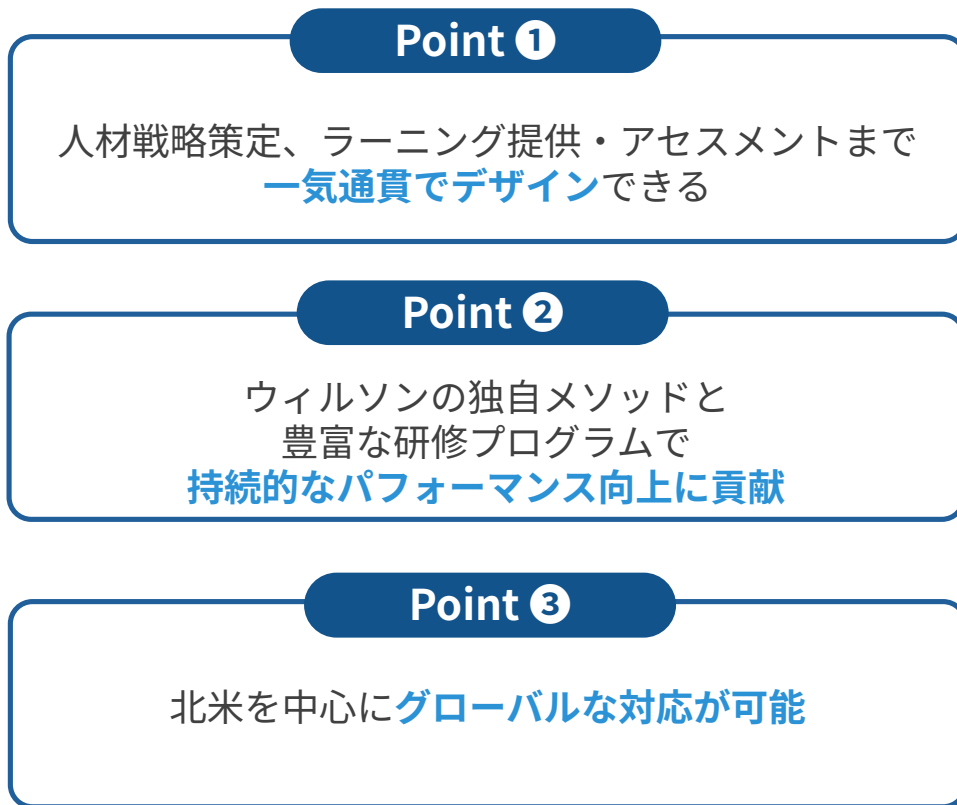
# ポジショニング戦略

既存領域の拡大を図るとともに、ETCの各サービスと組み合わせて**高単価な新規領域**にも積極的にアプローチを行う



## ■ ウィルソン流戦略

上流工程の人材戦略策定から、クライアントの課題に特化した研修プログラムの開発、研修の実施、効果検証まで、**人と組織の成長をトータルサポート**



# 04

## Appendix



## 代表取締役のご紹介

# 根岸 正州

## Masakuni Negishi

2003年4月 株式会社野村総合研究所 経営コンサルティング部入社

2022年3月 学校法人OCC 理事長 就任（現任）

2022年5月 学校法人OCC 大阪キリスト教短期大学 教授 就任（現任）

2022年12月 株式会社バリュー・スタッフ 代表取締役 就任（現任）

2023年2月 株式会社教育テック総研 代表取締役 就任（現任）

2025年4月 学校法人OCC 教育テック大学院大学 特任教授 就任（現任）

2025年8月 当社 代表取締役社長（現任）

2003年野村総合研究所に入社後、約20年にわたり経営戦略策定、グローバル経営管理、ガバナンス・組織改革、デジタル分析組織設計、企業再生、業務・IT改革支援など幅広いコンサルティングに従事。

製造、食品、アパレル、サービス業など多様な業界で豊富な知見を持ち、長期ビジョンや中期経営計画策定、グループ再編、事業開発、業務・IT改革、人材マネジメントを含む多数のプロジェクトを主導。2022年には学校法人OCC理事長に加えて、大阪キリスト教短期大学で教授に就任。その後、バリュー・スタッフや教育テック総研の代表取締役にも就任。現在においても経営と教育の両面から人材育成と企業変革に尽力。



## 取締役のご紹介

取締役  
CIO

児島 研介

Kensuke Kojima



1998年に当社入社。WebやICTシステムを活用し、クライアントにコンテンツやサービスを提供する、デジタル・ラーニングおよびラーニング・コミュニケーションの企画・開発・実装を専門。多くのクライアントの人材育成ポータルの開発を主導・展開。

取締役  
WLC担当

David Yesford



ウィルソン・ラーニング・コーポレーション社長。人材パフォーマンス分野で40年の実績  
米国・アジア太平洋での豊富な国際経験  
国際会議登壇・主要誌寄稿多数

社外取締役

柴山 慎一

Shinichi Shibayama



NECで財務部門、経理財務の実務を経験後、NRIに転籍し、未上場企業の調査、民間企業の経営コンサルティング、広報・IRの実務経験、子会社の経営を担う。シダックス株式会社で数年間にわたり経営を担い、PEファンドとともに企業再生にも関わる。

社外取締役

杉本 有輝

Yuki Sugimoto



元BCG 経営戦略策定・DX/AI活用を担当  
元サファイア・キャピタル 中小・ベンチャー投資・経営支援  
アクセラ創業 DX・AIによる事業変革や成長支援に尽力  
戦略から実行まで一貫した伴走支援に強み

# 執行役員のご紹介

執行役員  
パフォーマンスコンサル  
ティング本部長



**小原 大樹**  
Daiki Obara

教育制度設計や育成体系構築、営業力強化など幅広い分野でプロジェクトを担当。人材開発、組織文化関連での産学連携の共同研究の推進などに従事。米国MBA。

執行役員  
パフォーマンスコンサル  
ティング副本部長



**加山 祥三**  
Shozo Kayama

2003年当社入社。人材・組織開発コンサルとして研修の企画～定着まで一貫支援行動変容と成果創出に強み、現場起点で組織パフォーマンス向上を実現研修内製化・講師育成やマネジメント変革を多数リードオンライン×対面の学習設計と組織全体の変革支援に注力

執行役員  
ソリューション・  
リブランディング  
担当



**久住 達也**  
Tatsuya Kusumi

1991年当社入社。一貫して、当社の商品開発・顧客向けカスタマイズに従事しており、ウィルソン・ラーニングの研修コンテンツに精通したエキスパート。大手クライアントを主に担当し、クラスルーム研修のコンテンツのみならず、デジタル化も数多く手がけている。多数手がける

執行役員  
新規営業・事業  
組織開発担当



**三浦 英雄**  
Hideo Miura

価値創造に関するリーダーシップ、企業カルチャーの実践研究に基づきイノベーション・イネーブルメント事業を創設  
社会的価値創造のエコシステムの実装を多数手がける

執行役員  
CDO



**飯塚 裕貴**  
Yuki Iizuka

野村総合研究所出身。教育事業者向けDXを企画構想～開発・運用まで一貫リードデータ基盤刷新や業務改革を通じ教育のデジタル化を推進教育テック大学院大学特任教授現場起点でデジタルによる学びの変革を実践

執行役員  
CSO兼CFO



**田島 大輔**  
Daisuke Tajima

公認会計士 米国MBA  
あずさ監査法人で監査経験後、デロイトコンサルでシステム統合PMO、KPMG FASで国内・クロスボーダーM&A  
上場AI企業・スタートアップ CFO歴任

執行役員  
コーポレート本部長



**渡壁 淳司**  
Junji Watakabe

採用PR会社で営業職他、イベント、企業広報、地域開発、インターネット事業開発等に従事。  
1998年当社入社。採用広報事業本部長人事部長、アセスメント部門長等を経て、2016年より現職。

# 会社概要

会社名 ウィルソン・ラーニングワールドワイド株式会社  
Wilson Learning Worldwide Inc.

設立 1981年 12月 28日

上場市場 東証スタンダード 9610

資本金 9億8850万7238円 (2026年4月末時点)

代表 代表取締役社長 根岸 正州

事業所	<b>本社</b> 〒104-0045 東京都中央区築地2-1-4 銀座PREX East 5階 TEL.(03)6381-0225 (代表)	<b>大阪支店</b> 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビル8F billage OSAKA 5号室 TEL. (03)6381-0234 (代表)
-----	---	---



## 海外拠点

North America / EMEA  
Wilson Learning Corporation  
8000 West 78th Street, Suite 200  
Minneapolis, MN 55439  
United States of America  
1.800.328.7937  
[info@wilsonlearning.com](mailto:info@wilsonlearning.com)

Latin America  
Wilson Learning Latam  
Gabriel Mancera 835,  
Col. del Valle, Del. Benito Juárez, 03100 CDMX  
+52.55.566.08360  
+1.321.332.2835  
[info@wilsonlearning.com](mailto:info@wilsonlearning.com)

Asia Pacific  
Wilson Learning India  
WeWork DLF Two Horizon Centre,  
5th Floor, DLF Phase-5, Sector-43,  
Golf Course Road, Gurugram,  
Haryana- 122002  
[ishita\\_singh@wilsonlearning.in](mailto:ishita_singh@wilsonlearning.in)

## 免責事項

本決算説明資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。資料作成時点において当社が入手している情報に基づき策定しており、当社がその実現を約束する趣旨ではありません。



(証券コード:9610)